



住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト

資料－１

北海道地方メディア連携協議会(第7回)

昨年度アンケート結果及び全国的なご意見・ニーズ

北海道開発局 建設部 河川管理課

R6北海道地区メディア連携協議会アンケート結果



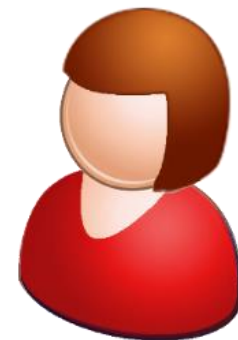
災害の恐れがある際に、**どのような基準でどのように情報発信されるのか**（河川の氾濫や台風に関する情報など）を改めてレクチャーいただくと大変参考になります。また、**防災に関する新技術を活用した取り組み（ドローンやAIなど）**についてご紹介いただく機会があれば、記事の良い題材になるかと存じます。

他社・他エリア（北海道以外）の**事例紹介**をお願いしたい。

大雨の機会が増え、雨竜川が2年連続で氾濫するなど、洪水・氾濫のリスクが高まっています。**北海道での河川の災害対策の最新情報**や、**温暖化など気候変動に対応した河川対策**を知る機会があれば、メディア側の理解が深まると考えます。

情報発信、情報アクセスについての説明（気象データの過去との比較や休日などの問い合わせ先など）

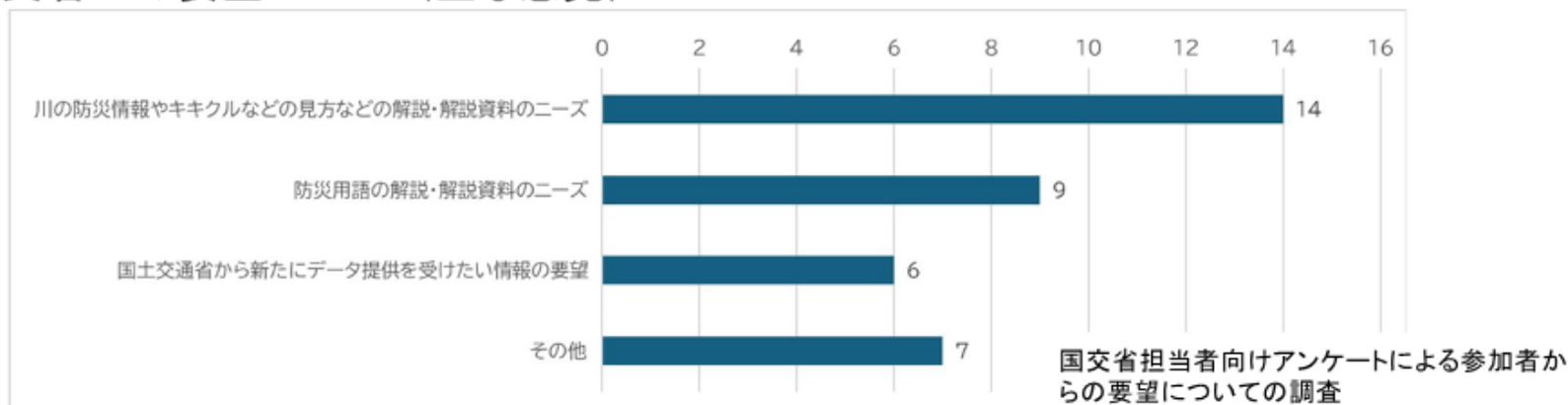
気象台が発表する**防災気象情報、気象庁ホームページの防災情報等の利用と解説**



協議会参加者(メディア側)からのご意見・ニーズ

- ・川の防災情報やキキクルなどで提供される防災情報の見方や、防災用語の意味・解釈・読み方などに関する情報提供のニーズが高い。
- ・その他意見・ニーズとして、カメラ映像提供、新技術の情報提供、情報共有方法、現場見学会など。

➤ 国交省への要望・ニーズ(主な意見)



➤ 国交省への要望・ニーズ(アンケート自由回答・会議※での主な発言)

分類	要望・ニーズ
防災用語や提供される防災情報等の解説	・防災用語の正確な意味、解釈、読み仮名に関する情報提供 ・キキクルの見方や水位の考え方に関する解説 等 ※ 上記のグラフも参照
CCTV・河川カメラ映像	・河川以外(道路、砂防、ダム、ヘリ画像 等)のカメラ画像の提供 ・動画配信の死活状況に関する情報の提供 等
防災関係の新技術	・防災に関する新技術を活用した取組(ドローンやAIなど) 等
情報共有方法	・FAXではない情報共有・一元化の方法(新たな情報基盤の活用) ・SNSを用いた情報共有・発信 等
現場見学会・勉強会	・現地視察会は取材機会があるので参加しやすい ・災害発生後、時間を置かずに行政とメディアで課題を議論する場が必要

※各地域の地域メディア連携協議会における議事録や、議事概要、会議報告等より

業団体加盟企業のご意見・ご要望のニーズの分類

各アンケートの記述式ご意見を上述のニーズに関連するご意見に分類

・ 各業界とも、リアルタイム・予測情報へご意見・ご要望が多い

分類	民放連 (n=98)	CATV (n=25)	地方新聞 (n=45)
用語の統一・解説	1	0	0
勉強会・解説資料の充実	7	3	2
メディアと行政の連携強化	6	0	1
提供情報のニーズ (リアルタイム・予測情報)	19	6	5
情報提供方法へのニーズ (網羅性、統一性、一元化、機械可読化)	16	6	1
情報提供方法へのニーズ (パーソナライズ化)	4	0	0
提供手段・対象の多様化	1	0	4
他	6	1	1

(他：利用状況報告・感謝・地震災害にかかるご意見・配信停止・表示デザインへの意見・等)